

各 位

## 議長選挙に対する日本共産党の立場と態度について

本日の5月臨時会本会議において、議長に田村清氏、副議長に石橋慶助氏が選出されました。

日本共産党新潟市議会議員団は、政令指定都市にふさわしい清潔で、市民にひらかれた議会の確立をめざし、各会派に対して6項目の議会運営の改善策（5月9日、別紙参照）をしめし、この方向に向けて一歩でも、二歩でも前進をめざす議長と副議長を選ぶことをよびかけてきました。

しかし、議長、副議長選出にいたる会派間の話し合いは、市議としての経歴が5期以上であることのみを条件とし、どのような議会をめざすのかということとはまったく議論されませんでした。また、当議員団が提起した改善策については、各会派からも、議長候補、副議長候補からも明確な態度表明は得られませんでした。

以上のような経過から、今回の議長・副議長の人事については、当議員団としては同意できないため、白票を投ずることとしました。

今後は、先に掲げた改善策の実現をめざし、各会派の合意を得るための努力を続けます。なお、議会内の合意のいかんにかかわらず、独自に下記のような対応でのぞむことを決定したこともあわせてお知らせします。

### 記

1. 議員の費用弁償は廃止をめざし、当議員団所属の議員への支給分については、使わずに保管し、議員退職時に市に寄附することとします。
2. これまで当議員団は、全国議長会、北信越議長会等が主催する慣例的な海

外視察の廃止を求め、参加してきませんでした。今後もこの態度を堅持し、海外視察の廃止を求めています。

3. 定例会前におこなっていた市長との「朝食会」は、市長に廃止の申し入れをおこない、議員団としては参加しないこととします。

2007年5月25日

日本共産党新潟市議会議員団

団長 渋谷 明治